

室内用

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

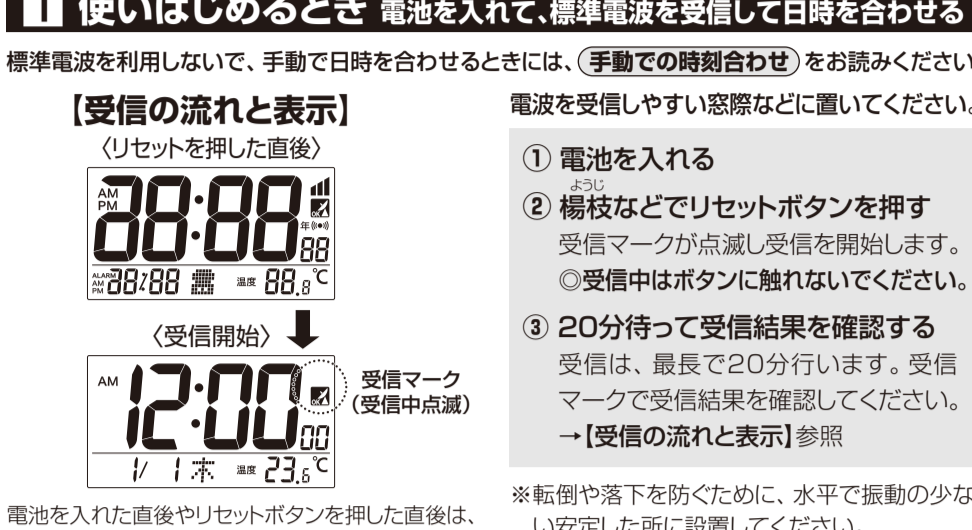
お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元保管して、必要に応じてご覧ください。

リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北栄町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を3個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。
(正面) ※液晶の表示は見る方向により薄くなったりムラになったりします。



- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2015年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00になります。
- ②進む(+)/戻る(-) — アラーム時刻を手動で日時を合わせる時に使用。
- ③時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用。短押しで12/24表示の切り替え。
- ④アラーム切替 — アラームの鳴りかたの切り替えと/モニターアラーム音の選択、試験ボタンの兼用。
- ⑤スヌーズ — アラーム音の一時停止とライトボタン兼用。

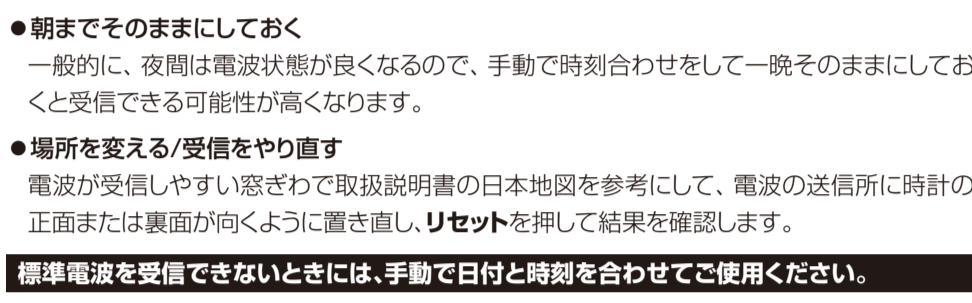
電池の入れかた

- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕表示に合わせて、単3形乾電池を3個入れる。
- 電池ふたを閉じる。

▲注意 電池の⊕を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。電波を受信しやすい際際などに置いてください。



電池を入れた直後やリセットボタンを押した直後は、2015年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

電池の受信中に進む(+)/戻る(-)のいずれかを押すと、時刻合わせを約2秒間押し続けると、受信マークが点灯し受信を中止します。

受信マークの変化 電波の状態により変化します。(電波サーチ機能) 受信できない 受信しやすい

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を開始させてください。

(受信終了) 最長20分後 (受信に成功したときの表示例) (受信に失敗したときの表示例)

○受信マークが点灯し受信成功を示しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットを押して再度受信を試みてください。

○受信マークは、受信成功後24~25時間点灯します。

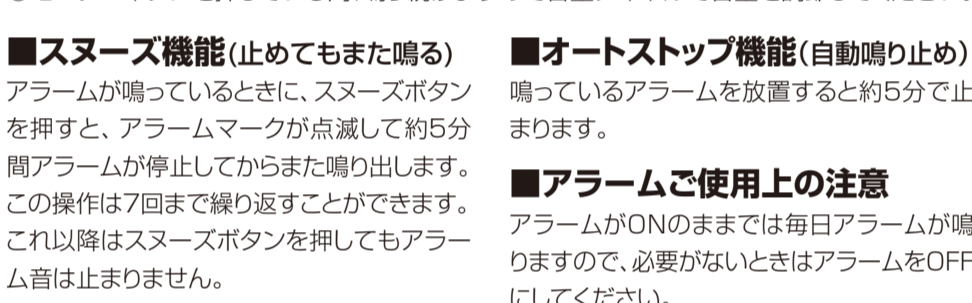
標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す 電波が受信しやすい窓や直射日光を避けた場所、標準電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時と時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分/秒)の順に設定してください。



●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。

●アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。

●電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

●標準電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

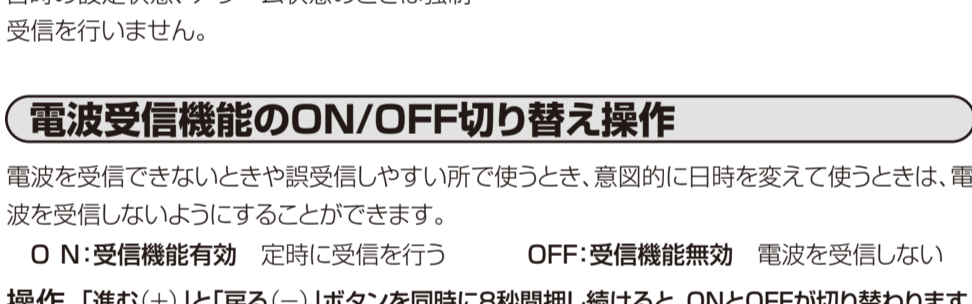
2 アラーム機能を使う

重要 アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期間使い続けたりすると聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

*アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズによるアラーム一時停止中の状態です。

1 アラームのON/OFF設定



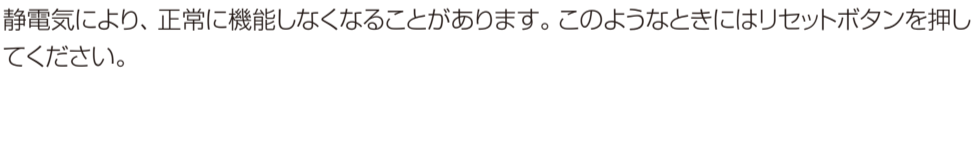
ON : 設定時刻にアラームが鳴る。ONにするとアラームマークが点灯。アラーム時刻が3秒点滅後に点灯表示。

OFF: アラームを止める、鳴らさない。アラームマーク消灯、日付・曜日を表示。

2 アラーム時刻を合わせる

①アラームスイッチをOFFにする ※アラーム状態*のときはアラーム時刻を設定することはできません。

②進む(+)/戻る(-) ボタンを押してすぐ離す



ALARMが点灯し、アラーム時刻が点滅します。 ※12時間表示のときはAM/PMの表示に注意。

③進む(+)/戻る(-) ボタンでアラーム時刻を合わせる ボタン 押してすぐ離す 押し続ける

進む(+): 1つ進む 早送り 戻る(-): 1つ戻る 早戻し

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる ※必要に応じてアラームスイッチのON/OFFを切り替えてください。

3 アラーム音の鳴りかたを選択

アラーム切替つまみを合わせてアラームの鳴りかたを選択します。

固定..... モニターで最後に試聴した音がアラーム時刻に鳴ります。

おまかせ..... ランダムに選ばれた3種類の音が連続でアラーム時刻に鳴ります。

※スヌーズによるアラーム一時停止中でも、モニターボタンを押すとアラーム音が切り替わります。

おまかせ..... ランダムに選ばれた3種類の音が連続でアラーム時刻に鳴ります。 ※スヌーズは30種類収録された音がアラーム時刻でアラームを使用する毎に30種類の中からランダムで3種類が連続で流れます。

4 アラーム音の選択と音量調節

必ず音量を「小」にしてからアラーム音の選択と音量の調節をしてください。

○アラーム切替つまみは、アラームのモニターボタンを兼ねています。モニターボタンを押すたびに音が切り替わります。

※約5秒間モニターボタンを押さないと、モニターの順番は最初の設定に戻ります。

※アラーム切替が「おまかせ」の場合は音の順番もランダムです。

○モニターボタンを押している間、鳴り続けれますので音量ダイヤルで音量を調節してください。

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。

この操作は7回まで繰り返すことができます。これ以降はスヌーズボタンを押してもアラーム音は止まりません。

オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分で止まります。

アラームで用上の注意

アラームがONのままでは毎日アラームが鳴りますので、必要がないときはアラームをOFFにしてください。

3 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押している間と離してから5秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときは、時計正面や上方より見てください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

4 温度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

●センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度変化をすくには反映しません。

●直射日光の当たった場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

※設置する高さによっても温度は変わります。 ※厳密な温度管理をする用途には適していません。また、温度の証明や商取引には使用できません。 ※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

測定範囲を超えたときの表示と意味 温度「HI」50℃を超える高温 「LO」-9.9℃未満の低温

5 時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐ離すとAM/PM表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。

(12時間表示) AM/PM 12:00 ~ 11:59 (24時間表示) 0:00 ~ 23:59



アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態、受信状態のときは表示の切り替えができません。

強制受信(進む(+)/戻る(-)ボタンの長押し)とリセット操作

強制受信 (受信機能がONのとき) 場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

操作 「進む(+)」と「戻る(-)」の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると、☒が点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

リセット 電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2015年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うときは、電波を受信しないようにすることができます。

ON:受信機能有効 定時に受信を行う OFF:受信機能無効 電波を受信しない

操作 「進む(+)」と「戻る(-)」ボタンを同時に8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。 ※ON/OFFが切り替わるときに、日付表示部にON/OFFが約2秒間点滅します。 ☒ ☒ ☒ ☒

●ONからOFFに切り替えるときは、2秒経過したときに強制受信になるため ☒が点滅しますが、そのままボタンを押し続けてください。

●OFFからONに切り替えるとき受信を開始します。 ※アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは、切り替え操作ができません。 ※電池を入れ替えたりリセットを押すと、受信機能はONになります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するが、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回、定期的指定の電池に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水ですくった中性洗剤や石けん水で、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、よく拭き取ってください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度 -10~50℃ *結露しないこと(液晶表示可読温度範囲0~40℃)

時間精度 標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 3個

電池寿命 約1年(アラーム:30秒/日(音量:最大)、照明:5秒/日使用)

標準電波 標準電波を受信して自動・時刻を修正

受信局 福島局/九州局自動選択

受信回数 8回/日

受信開始時刻 1時から4時、13時から16時の各時間帯 16分40秒に受信を開始

受信ON/OFF ボタン操作で切り替え可能

アラーム機能 セットした時刻にアラームが鳴る

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム音 電子音

スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止

オートストップ アラーム音が連続5分で自動停止

カレンダー 2015~2099年対応

温度表示 -9.9~50℃

温度精度 ±0.2℃

測定間隔 1分

照明 スヌーズボタンを押している間と離してから5秒間照明

防滴防塵機能 なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0~40℃になれば、正常に戻ります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。 ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ☒は、禁止(してはいけないこと)を示しています。 ☒は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く場所に置かない 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

☒ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。